

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2005-354385(P2005-354385A)

【公開日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-050

【出願番号】特願2004-172786(P2004-172786)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/16 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/16 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月5日(2007.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

 入力されたアナログ映像信号をデジタル映像信号に変換するA Dコンバータと、
 前記A Dコンバータから出力されたアナログ映像信号中の同期信号を検出する同期信号
 検出手段と、

 前記同期信号検出手段の出力に応じて前記デジタル映像信号のペデスタルレベルを検出
 するレベル検出手段と、

 前記レベル検出手段が検出した前記ペデスタルレベルと目標値との差分値を出力する差
 分出力手段と、

 前記差分出力手段の出力に対してシグマデルタ変調処理を行う変調手段と、

 前記変調手段の出力に応じて前記A Dコンバータに入力されるアナログ映像信号のペデ
 スタルレベルを制御するクランプ手段と
 を備えることを特徴とする信号処理装置。

【請求項2】

 前記クランプ手段は、前記変調手段の出力が入力されるローパスフィルタを含むことを
 特徴とする請求項1に記載の信号処理装置。

【請求項3】

 前記変調手段の動作周波数が前記アナログ映像信号におけるカラーサブキャリア信号周
 波数のn倍(nは整数)であることを特徴とする請求項1又は2に記載の信号処理装置。

【請求項4】

 前記変調手段が出力する信号の出力期間を設定する期間設定手段を備えることを特徴と
 する請求項1乃至3の何れか1項に記載の信号処理装置。

【請求項5】

 前記差分出力手段の出力に基づいて前記A Dコンバータから出力されたデジタル映像信号
 に対してペデスタルレベルのフィードフォワード制御を行うフィードフォワード制御手
 段を備えることを特徴とする請求項1乃至4の何れか1項に記載の信号処理装置。

【請求項6】

 前記A Dコンバータ、前記同期信号検出手段、前記レベル検出手段、前記差分出力手段
 及び前記変調手段は、同じ集積回路上に構成されていることを特徴とする請求項1に記
 載の信号処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】信号処理装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0001】**

本発明は、信号処理装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0015】**

本発明は、上述した事情を考慮してなされたもので、従来のクランプ回路のように電流源やビデオアンプを利用することなく、アナログ映像信号のペデスタルレベルをクランプ制御可能にすることを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0016】**

この発明は、上述した課題を解決すべくなされたもので、入力されたアナログ映像信号をデジタル映像信号に変換するA/Dコンバータと、前記A/Dコンバータから出力されたアナログ映像信号中の同期信号を検出する同期信号検出手段と、前記同期信号検出手段の出力に応じて前記デジタル映像信号のペデスタルレベルを検出するレベル検出手段と、前記レベル検出手段が検出した前記ペデスタルレベルと目標値との差分値を出力する差分出力手段と、前記差分出力手段の出力に対してシグマデルタ変調処理を行う変調手段と、前記変調手段の出力に応じて前記A/Dコンバータに入力されるアナログ映像信号のペデスタルレベルを制御するクランプ手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】**【手続補正7】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0018】**

本発明によれば、従来のクランプ回路のように電流源やビデオアンプを利用することなく、アナログ映像信号のペデスタルレベルをクランプ制御可能にすることができます。